

B 大槌町健康生活調査（2011.4/23-5/8）町民の皆様への結果報告 並びにアイデア募集

1. 目的

本事業のこのBの目的は、Aにおいて健康生活調査の結果を分析することによって明確になった大槌町の健康課題について、事業班より町民の方々に報告し、大槌町民の健康面の実態を知っていただき、その上で、町民自らがこれからどうすればいいかについて考え、発言する機会を持つことにある。これにより、町民の健康への関心の程度や町民による健康づくり活動の展開がどの程度自立して行えるかについて情報を得ることができるとともに、住民の発想や発案をもとに活動の展開方法を探ることができる。

2. 方法

大槌町の許可を得て、10月5、6、13日に大槌町内10ヶ所において町民への健康生活調査の結果報告会を開催した。事前の広報や当日の会場設営および運営には、大槌町食生活改善推進員協議会の全面的な協力を得た。

参加者には、後に示すスライドを用いて主に高血圧予防と心のケアの必要性について説明し、他の自治体が行っている減塩活動2事例についても紹介した。説明のあとは参加者からの意見を収集し、その場でパソコンに入力・スクリーンに映し出し皆で確認した。会を迫る毎に、それまでの会場で出た意見も紹介し、今後の取り組みにむけての発想がより広がるように配慮した。

3. 結果

3日間10ヶ所で98名の参加があった（表）。健康生活調査の結果説明では、震災1.5-2ヶ月後に大槌町では高血圧症の方がとても多かったこと、とりわけ働き盛りの方のストレスによる血圧上昇が予測されること、皆と交流し楽しみながら癒されながらの健康づくりが望まれることなど、皆、熱心に聴いておられた。報告後の意見交換では、町民から、後に示すスライド（参加者による発言の記録）に示したように、「減塩方法」「文化、習慣」「キャンペーンのキャッチコピー、アイデア」について様々な意見が出された。

4. 考察

町民への結果報告会での住民の方々の反応や、食改役員の方々の主体性・積極性を見て、事業班より、次年度以降の住民主体の減塩キャンペーン展開を提案することについて、一定の手応えを得た。事業班がキャンペーンの企画案を提案するにあたっては、参加者から出たキーワード、「塩とり」「塩りボン」「塩分測定（突撃ごはん）」「ストレス発散」「減塩意識・減塩運動」「食育」「コンテスト」などを取り入れられると考えた。

表 健康生活調査町民結果説明会

大槌町民の皆様への健康生活調査 結果報告会

月日	地区	場所	時間	参加者数	食改協 役員	報告者
10月6日 (木)	吉里吉里	若葉会館	09:30～ 10:30	20人	2人	岡本 鈴木
	浪板	吉里吉里第9地割集会場 吉里吉里第2・3仮設団地	11:00～ 12:00	11人	2人	岡本 鈴木 寺本
	榎内	大榎橋下流左岸、上流左岸集会場 大榎第6・7仮設団地	13:00～ 14:00	5人	2人	岡本 鈴木 寺本
	三枚堂	三枚堂下流集会場 小榎第8仮設団地	14:30～ 15:30	6人	2人	岡本 鈴木 寺本
10月7日 (金)	寺野	寺野弓道場 小榎第14仮設団地	09:30～ 10:30	8人	2人	岡本 鈴木
	中村	中村地区上流集会場 小榎第9・10・12仮設団地	11:00～ 12:00	12人	2人	岡本 鈴木 寺本
10月13日 (木)	赤浜	赤浜町営住宅上談話室 吉里吉里第4仮設団地	09:30～ 10:30	15人	2人	村嶋 鈴木 寺本
	安渡	安渡小学校 安渡第2仮設団地	11:00～ 12:00	9人	2人	村嶋 寺本
	金沢	金沢支所	13:00～ 14:00	6人	2人	村嶋 寺本
	渋梨	かみよ稲穂会館	14:30～ 15:30	6人	2人	村嶋 寺本

合計98人

大槌町への町民結果報告会の実施報告

10月13日 (木)	町方	大槌小学校 3年1組教室	16:00～ 17:00	大槌町福祉課 健康推進班 2名	村嶋 寺本
---------------	----	--------------	-----------------	--------------------	-------



平成 23 (2011) 年 10 月 6・7 日 大槌町民への結果報告会の様子